

# 学校運営協議会議事録

作成日 令和7年6月12日

作成者 河村 真

会議名:令和7年度 第1回小田原高等学校 学校運営協議会

日時:令和7年6月11日(水) 13:30~15:30 場所:第一会議室

## 時程・議題

- (1) 学校運営協議会委員委嘱等 13:30~13:40
- (2) 全日制授業観察
- (3) 学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 河村教諭・溝淵教諭) : 14:30~15:30

### 【学校評議委員会委員、学校担当職員】

- ① 石野会長より
- ② 校長挨拶
- ③ 出席者紹介
- ④ 学校運営協議会各部会について
- ⑤ 令和7年度学校評価目標設定について(各グループ)

#### 全日制課程

- [田中 雄士・教務グループ 総括教諭]  
[山口 真也・研究開発グループ 総括教諭]  
[細川 和也・生徒支援グループ 総括教諭]  
[三井 栄慶・キャリアカウンセリンググループ 総括教諭]  
[菊地原 孝祐・総務グループ 総括教諭]  
[二宮 賢一・広報情報グループ 総括教諭]

#### 定時制課程

- [柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]  
[鈴木 大地・教育活動推進グループ 総括教諭]

- ⑥ 質疑応答・委員からの意見聴取
  - ⑦ その他
- (4) 閉会

### (3) 協議

- ① 石野会長より
- ② 校長挨拶
- ③ 出席者紹介
- ④ 学校運営協議会各部会について
- ⑤ 令和7年度学校評価目標設定について（各グループ）

全日制課程

[田中 雄士・教務グループ 総括教諭]

・理数探究の授業担当者を増加することができた。3年目となるSSH、2年目となる学力向上進学重点校の取組を進め、本校独自の教育課程を実現している。

・今年度よりグループ数を5から6に変更し、業務分担の見直しを行った。

[山口 真也・研究開発グループ 総括教諭]

・仮説A～Dのもとに授業研究と探究活動を行っている。県西地域の資源を活用しながらイノベーションを創出する次世代のグローバル・サイエンス・リーダー育成を目指している。

・すべての科目において授業研究、授業評価アンケートを実施し、目標を達成できたかどうか確認する。また生徒にアウトプットをさせる学習成果発表会で成果を確認したい。

・地域との連携で探究活動を充実させたい。地域課題の設定で小田原市の関係部署に協力を依頼している。取組内容充実のため外部講師を招いて講座や講演を実施する予定。海外の方との英語での交流等も検討している。

[細川 和也・生徒支援グループ 総括教諭]

・生徒会活動、教育相談、文化祭準備を進める中で課題となっている部分を生徒が自ら解決し、それを教員がサポートする形で行っている。部活動の加入率は4～5%伸びている。

・サポートドックは現在スクリーニングを行っており、夏休みが終わるまでにプッシュ型面談につなげていきたい。SC・SSWにつなぐべき生徒をどのようにうまく選択するかが今後の課題となっている。

[三井 栄慶・キャリアガイドンスグループ 総括教諭]

・進学のしおりに従って掲げられた生徒の高い目標を叶えてあげられるように指導、支援していくことが必要である。教職員間で情報共有を徹底するために4月2日に全職員と生徒の進路に関する情報共有の時間を設け、補習・講習等の学習指導に組織的に取り組んでいる。

・キャリア教育については先輩大学生を招き、大学の様子を知る機会や、社会人から話を聞くような場を設定している。

・学力向上進学重点校として生徒の将来の進路希望実現に向けて取り組んでいきたい。

[菊地原 孝祐・総務グループ 総括教諭]

・地域貢献活動を年3回行っている。また本校の避難訓練の特徴は災害と地震を分け、地区別集会に分けて同じ地域の生徒同士で集まり、災害時の対応について確認をしていることである。

・行事予定は後程ご確認いただきたい。新たに同窓会の業務が入ったため、今後は同窓会ともご協力させていただきながら業務にあたっていきたい。

[二宮 賢一・広報情報グループ 総括教諭]

・学校案内、情報端末等の管理等の業務を行っている。先日の全公立展に参加したところ、本校へ興味を持ってくださる方が全県にいることが分かった。SSHや進学重点校に関する質問も多かった。

・なるべく地元や地元外の優秀な生徒に入学してもらうための情報発信が課題となっている。学校HPは更新が遅れているが、今後はHPの更新業務ができる教員を増やし、更新頻度をあげていきたい。中学

生は最初に学校HPを見ることが多い。10月の小田高カミングデーも地域の方に興味を持っていただ くきっかけとして取り組んでいきたい。

#### 定時制課程

##### [柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

- 多くの生徒が不登校経験者であるため、まずは学校への定着をはかり、自己肯定感を高めたい。
- 少人数の授業やチームティーチング、ICTを活用した学習への取り組みを進めていく。
- 令和8年度から近隣の定時制高校2校が募集停止となり、本校への入学希望者が増えることが想定される。
- 近年定時制や公立の通信制高校よりも広域通信制高校を選択する傾向がある。そういう学校とは異なる「通う学校」であるという点をアピールしたい。学校見学等を通して、「経験することによって得られるものがあることが伝えられるようなPR活動を行っていきたい。

##### [鈴木 大地・教育活動推進グループ 総括教諭]

- 不登校や家庭の問題を抱える生徒が増えている。SC、SSWと連携して課題を把握し、生徒支援を行っていきたい。
- 進学を選択する生徒が増加している一方で、就職が難しい生徒もいる。若者サポートステーションとも連携し、支援していきたい。
- 学校行事に関しては、生徒会を中心とした生徒主体の運営が進んでいる。今後もこのような体制を定着させたい。
- 今年度も夏休み前に学校周辺の清掃活動を行う。すでに城山中学、自治会には連絡させていただいている。
- 防災に関して、年2回の避難訓練を行っている。うち1回は停電を想定し、実施後アンケートをとって、徐々に資材の更新を進めている。

##### [岡村教頭]

- 不祥事防止研修会を実施し、不祥事ゼロを目指す。
- 定時制は職員数が少なく、一人が多岐にわたる仕事を担当することになるため、適宜業務改善を行い、負担を軽減していきたい。
- ストレスチェックを年1回行い、そのスコアの変化を把握して改善に努める。

##### [校長]

- 働き方改革に関する指針は5年前から県の教育委員会が取り組んでいる。3月に加速化宣言が出され、保護者や地域の方々にも理解していただけるよう県が資料を作成している。全日制・定時制ともに取り組むべきことがあるが、働き方改革の考えに沿って業務の削減等、取組を進めていきたい。

#### ⑥ 質疑応答・委員からの意見聴取

##### ◎ [全日制PTA会長]

- 学校の内部を知ることができ勉強になった。どのように子供のことを考えてくださっているかわかり今后ともご協力をお願いしたい。

##### ◎ [定時制PTA会長]

- 今年度も素晴らしい目標が立ったと感じている。子供同士や先生と子供との間で距離感を感じるので、先生と子供の間でより親密に交流ができるとさらに良いのではないかと思う。

##### ◎ [和田委員]

- 学習成果発表会を参観したが、身近なテーマを発表しており興味深くよかったです。探究的学びについてのアウトプットのよい機会になっていた。タイの子供との交流会において小田原高校の生徒が通訳をしてくれた。私のNPOではアメリカの生徒を受け持っているが、小田原高校の生徒が留学生に対して上手

に対応してくれた。こういった機会があることをうれしく思う。

◎ [松下委員]

- ・私自身、勉強があまり学生時代に好きではなかったが、みんなで一緒に取り組んでいくことができるといい。一方、小田原駅西口付近で横1列で並んで歩いている生徒の様子を目にするので、周囲への配慮やマナーを指導していただけるとありがたい。

◎ [中山委員]

- ・授業を通じて先生の熱意が生徒に伝わっている様子が見られた。この地域の活性化や人材育成のために貢献していかなければいけないと考えている。学校教育が県西地域の活性化につなげて頂ければと考えている。地域との密な交流を管理職の先生方にお願いしたい。

⑦ その他

[資料]

- ① 令和7年度 第1回次第、座席表（裏面）、資料一覧（裏面）
- ② 令和7年度 小田原高等学校学校運営協議会について
- ③ 令和7年度学校評価報告書【目標設定】全日制・定時制
- ④ 全日制配付資料
- ⑤ 定時制配付資料
- ⑥ 神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱
- ⑦ 神奈川県立学校のコミュニティ・スクールの手引き （新任委員のみ）